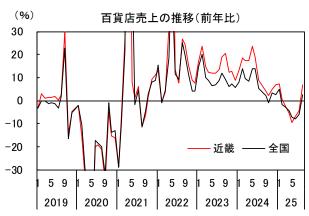


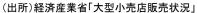
関西の景気トピックス【消費関連(25年8月)】

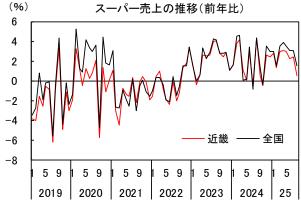
- 25年8月の百貨店売上(経済産業省)は前年比プラス6.9%と6か月ぶりの増 加となった。前年が台風や地震などで訪日客消費が悪化しており、その反動増 が一因とみられる。一方、スーパー売上の8月は前年比プラス0.6%と、米価 格や食料品価格の高騰などを背景に、売上が前年を上回る動きが続いている。
- コンビニ売上(経済産業省)は、8月は全店ベースで前年比プラス3.6%と6か 月連続の増加となった。商品価格の値上げの影響に加え、インバウンド客の増 加などもあり、売上が伸びる傾向が続いている。
- 住宅着工戸数(国土交通省)の7月は、前年比マイナス19.7%と3か月連続の 減少となった(3か月移動平均)。3月の改正省エネ法導入前の駆け込み需要に よる反動で、前年を大きく下回る動きが続いている。
- 一部で売上が前年を上回る動きはあるが、値上げの影響が大きく、需要の強さ を示すものとは言い切れない。住宅着工の鈍化も気掛かりであり、消費の基調 は依然として楽観できない状況である。

(戸)

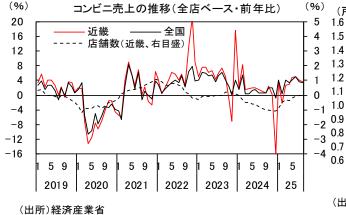
1.6







(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)国土交通省「建築着工統計」

1.5 関西着工数 1.4 1.3 1.2 1.1 0.9 8.0 0.7 0.6 4 7 10 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 2021 2022 2023 2024 25 2020

住宅着工戸数の推移

本件照会先:大阪本社 荒木秀之 TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp